

## “Do you have a Dream?”

### 未来学を知っておられますか？

アメリカには未来学（futurology）という学問分野があります。未来学は歴史を踏まえて未来がどう変わっていくかを詳細に調査・推論する学問分野です。未来学に取り組む人をフューチャーリストと呼びます。ウィキペディアに取り上げられた日本人は、ペンシルロケット、『逆転の発想』、『ケース D』の著者の糸川英夫氏と次世代の党の参議院議員、『未来ビジネスを読む』等の著者、国際政治学の浜田和幸氏のお二人だけでした。日本では、未来学という学問分野がある事すら知らない方がほとんどだと思われます。

### 今年が明治 147 年

今年が 2015 年、明治維新(元年)が 1868 年ですから、約 150 年が経過したことになります。日本では、直近の 20 年を失われた 20 年と呼んでいます。維新以来約 130 年間には、日清、日露に 2 度の世界大戦がありました。先の大戦前は列強、戦後はアメリカと言う追いつき、追い越せの目標がありました。それが、約 20 年前にアメリカに追いついたと思った瞬間から、失われた 20 年が始まったと言えます。

何故、空白の 20 年になったかと言えば、進むべき方向が分からず、右往左往していたということかと思えます。

### これからも続くのか、失われた 20 年

日本でイノベーションという言葉がもてはやされるようになって、やはり 20 年ぐらいでしょうか。イノベーションが「アメリカ」に代わる目標になったと言えなくもありません。20 年の長きに亘って、政府も企業も研究機関もイノベーションに取り組んできましたが、満足のいく成果は得られていないようです。

改めてイノベーション関連の当事者に、「あなたにとってイノベーションは何ですか？あなたのイノベーションの目標は？」と質問してどれだけの人がすらすらと答えられるでしょうか。

### イノベーションは未来思考から

サミュエル・ウルマンの『青春』に、青年とは「常に明るい希望を持ち、勇氣凛凛未来の夢に挑戦する人」とあります。今の日本人が現在の延長で未来を考えると暗いものにならざるを得ないでしょう。しかし、日本の未来は日本人が明るく考えれば済むことです。未来を考え、夢を語るのは、小学校卒業時の作文以来で要領を得ないかもしれませんが、SF作家、漫画家の様にトテツもない夢を考える訓練すれば、各社、各人のイノベーション(ビジョン、目標)が見えてくると期待されます。

イノベーションを未来思考から始め、像が結ばば実行あるのみではないですか。